

# しちがはま

## 議会だより

No. 142

令和2年1月15日  
宮城県七ヶ浜町議会



仲良くぺったんこ

**特集 台風19号被害対策** 2

**指定管理者の指定(放課後児童クラブ) 議案審議** 4

**津波避難標識の修正は など** 6人が一般質問 8

**議会報告・懇談会レポート** 14

# 専決 処分

# 台風19号

# 被害対策

## 12月 定例会

### 農業用施設災害復旧工事 1065万円



農地へ倒木があり対応

**問** 伐倒処理で集積されていたものが崩れ水路に流出している。残流木の処理は、  
**答** 産業課長 残流木はほとんど回収済である。残っていたら回収する。

質疑

### 七浦堤排水路法面復旧工事 90万円



### 大木岡貝塚災害復旧工事 850万円



質疑

**問** 被害箇所と内容は、  
**答** 生涯学習課長 5力所で、2〜3メートルの小規模なものや十数メートルの大規模な土砂崩れである。

**問** 今後被害が広がらないための対策は、  
**答** 調査し、復旧する。

**コラム**  
専決処分とは  
本来、議会の議決・決定を経なければならぬ事項を、地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理することです。

### 小田汚水ポンプ場災害復旧費 1億1700万円



**問** 被害の原因と復旧は元の状態になるのか。  
**答** 水道事業所長 近辺で一番低い場所であり、雨水が集中したのが原因と考える。復旧工事は耐水型のポンプを導入し制御盤もかさ上げる。

質疑

**問** 遠山5丁目が該当の場所であるが、被害の内容は。  
**答** 財政課長 土砂崩れが原因で倒れそうな木が出たため、業者に撤去・処理を委託した。

下水道特別会計

### 稲わら撤去運搬業務委託 800万円



### 道路施設災害復旧工事 102万円



質疑

**問** 被害を受けた箇所と総数量は、  
**答** 産業課長 15力所で665立方メートルである。

**問** 処理方法は、  
**答** リサイクルセンターで細かく裁断し肥料にする。

質疑

### 町有地倒木処理等業務委託 197万円



質疑

10月に県内を直撃した台風19号は本町にも土砂崩れや多数の倒木、稲わら流出などの被害をもたらしました。災害復旧に迅速に対応するための一般会計補正予算(第3号)5278万円を承認しました。

一般会計

# 正算 補予

## 長須賀多目的広場整備の ための財源確保

令和元年度一般会計補正予算(第4号)は、歳入歳出にそれぞれ3億6045万円を追加し、総額を86億9762万円としました。  
主なものは、長須賀多目的広場整備事業や公共施設の老朽化に対応するため管理基金へ追加するものです。



**問** 中央公民館の椅子購入は何脚で、古くなったものはどうするのか。  
**答** 生涯学習課長 90脚とそれを乗せる台車2台を購入するものである。古くなったものは廃棄せず、外部などで利用する。

**中央公民館会議用椅子等購入代 (135万円)**

**問** 健康増進課長 特定不妊治療助成は6名で、すでに50万円支出している。がん患者ウィッグ助成は、当初予算として5名分10万円計上したが、すでに支出したため今回補正計上した。  
**答** 利用状況は。  
**問** 健康増進課長 特定不妊治療助成は6名で、すでに50万円支出している。がん患者ウィッグ助成は、当初予算として5名分10万円計上したが、すでに支出したため今回補正計上した。

**特定不妊治療およびがん患者医療用ウィッグ購入費用助成金 (60万円)**

**問** 海水浴場の運営は、安全の確保が第一と考えなければいけないと思うが補助金で十分か。  
**答** 副町長 独自の努力もしていただきたい。ため、出資金か、あるいは補助金がいいのかなど方法を考えなければいけない。法人化が1年目というところがあるので、今後とも団体と協議したい。

**問** 今後町として予算化するのか。  
**答** 主に海水浴場の収入であるが、天候によりかなり左右されるので、年間を通して確実に収入があるものを考えるように、町からもいくつか案を提示している。

**問** 7月の天候不順による補助とのことだが、当初の売上目標は。  
**答** 産業課長 シーズンを通して駐車場収入の990万円を見込んでいたが、収入は783万円であった。

**町観光協会補助金 (170万円)**



老朽化で使用できず交換します

**問** 具体的な内容は。  
**答** 教育総務課長 現在放送室にある機器が老朽し、修理も検討したが交換するものである。

**向洋中学校校内放送設備改修工事 (135万円)**

おもな内容		補正額
歳入	震災復興交付金基金繰入金	2億3296万円
	震災復興特別交付税	5825万円
	町有地売払い収入	5801万円
歳出	長須賀多目的広場整備工事	2億9887万円
	公共施設管理基金積立金へ追加	5801万円
	東日本大震災追悼式へ追加	332万円

**問** 説明では健康福祉課が、健康福祉や障害福祉に関する事で、長寿社会課は、地域福祉や介護保険に関する事とのこと。紛らわしく感じるが。  
**答** 副町長 住民に知らせる際は、規則に仕事内容を加えて、不便をかけたという工夫したい。

**条例改正**  
課設置条例の一部改正

**問** 健康増進は長寿に関することだと思いが。  
**答** 町長 年代別に即した対応の設定をしたものである。

# 案議 議審

**指定管理者の指定**  
●放課後児童クラブの指定管理者の指定

**内容**  
放課後児童クラブの管理を行わせることが適当と認められた候補として、選定した当該団体を指定するもの。

**賛成** 佐藤 衛  
町の責任をもって指定管理者や利用する児童への安全安心な運営管理を指導するとともに、保護者および支援員等へも十分配慮することによって賛成する。

**反対** 木村 稔  
指定管理者制度は、地域住民の福祉増進という意義を投げ捨て、公的責務を放棄することに他ならない。本町の持続的発展を期待し反対する。

**問** 期間3力年の理由は。  
**答** 総務課長 今回初めての指定管理となるので、3年間の結果で今後は検討したいと考えている。

## 討論

**反対** 遠藤 久和  
9名の選定委員に現役の利用者の保護者が入っていない。利用者の評価が反映されていたら結果は変わっていたのでは。よって反対する。

**賛成** 佐藤 衛  
町は責任をもって指定管理者や利用する児童への安全安心な運営管理を指導するとともに、保護者および支援員等へも十分配慮することによって賛成する。

**反対** 木村 稔  
指定管理者制度は、地域住民の福祉増進という意義を投げ捨て、公的責務を放棄することに他ならない。本町の持続的発展を期待し反対する。

**反対** 歌川 渡  
放課後児童クラブの民間委託は、町行政が地方自治法で掲げている地方行政の趣旨を根幹から否定する点から反対する。

**賛成** 佐藤 衛  
現在の支援員の待遇改善や子供たちが楽しめる行事の企画力、安全に過ごせる居場所作りなど、保護者が安心して預けられる事業者として理解したので賛成する。

## 条例制定

●台風19号による災害被害者に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例

**内容**  
令和元年台風19号による災害被害者に係る国民健康保険税及び介護保険料を減免し、当該被害者の負担軽減を図るもの。  
採決の結果  
反対なく全会一致で可決

## 工事変更契約

●平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

**内容**  
既存配水管の破損による床下清掃や消毒処理および、消防用非常侵入口の確保などの増工によるもの。

**契約先** 鷹鷲建設株式会社  
**契約額** 1億33万円  
**工期** 令和2年1月17日

## 質疑

**問** 掃除用モップなどで使用するシンクを撤去するようだが理由は。  
**答** 教育総務課長 管の詰まりがあり使用してはならなかった。手洗い場に一段低い部分があるので、バケツ等でモップ洗浄等を行っている。

## 工事

●平成31年度町民プール改修工事

**内容**  
屋根固定金具の腐食のため撤去新設が必要になったことや照明設備、電気配線設備の破損や劣化が確認されたことから漏電事故防止のため電気関連設備の変更によるもの。

**契約先** 株式会社木元装  
**契約額** 6584万円  
**工期** 令和2年1月31日



屋根も新しいものを設置することになりました

## 質疑

**問** 屋根の撤去新設に至った経緯は。  
**答** 生涯学習課長 改修予定であったが、現場を確認すると劣化していたので撤去新設の方が無難と判断した。

**問** 当初から確認できなかったのか。  
**答** 当初は屋根材が付いている状態で確認したため、工事を進めるうちに部材等が外れて見えてきた。

採決の結果(2議案)  
反対なく全会一致で可決



ズバリ

# 町政を問う

## 一般質問一覧表

12月定例会の一般質問は、4日に行い、6人が活発な議論を展開しました。

内容は質問者の原稿を原文に近い形で8ページから13ページに掲載しています。

なお、タイトルは通告のとおりです。

### 佐藤 衛 ..... 8ページ

- 避難誘導標識の修正について
- オレンジフラッグの導入について

### 熊谷 明美 ..... 9ページ

- ハザードマップや災害備蓄品、自主防災会の充実で防災対策を

### 遠藤 久和 ..... 10ページ

- 放課後児童保育館の運営について

### 渡邊 淳 ..... 11ページ

- 水門管理を通じた治水対策について
- 菖蒲田津波防災緑地について
- 国土強靱化策の説明を受けて町の方針を伺う

### 木村 稔 ..... 12ページ

- 防災行政無線戸別受信機の貸与について
- 菖蒲田浜地区町営住宅について
- 生涯学習センター及び町内スポーツ施設等の使用・利用料の減免について

### 歌川 渡 ..... 13ページ

- 七ヶ浜町町営住宅家賃減免及び徴収猶予事務取扱要綱の見直しを
- 水道事業の健全な運営を
- 学校給食の無償化の推進を

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や、将来の方針について、所信や疑問をただすこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

※傍聴される方には、一般質問の要旨が記載されている資料を配布しています。

## 12月定例会 提出議案採決結果一覧 (12/4~12/5)



12月定例会では、専決処分や条例改正、変更契約、令和元年度各種会計補正予算等の議案を審議しました。

賛否が分かれた案件を採決一覧表に、全会一致の案件は名称のみ掲載しました。なお、議案名は略して記載しています。

### ●賛否が分かれた議案等

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	佐藤直美	小林倫明	仁田秀和	木村稔	熊谷明美	佐藤壮一	安倍敏彦	遠藤喜一	渡邊淳	遠藤久和	佐藤梶信	歌川渡	佐藤衛	岡崎正憲
放課後児童クラブの指定管理者の指定	4	8	5	可決	●	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○

○賛成 ●反対 議長(岡崎正憲)は採決に加わらない。

### ●全会一致の議案等

条例制定・改正	掲載ページ
○台風第19号による災害被害者に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例制定	4
○課設置条例の一部改正	5
○議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	-
○印鑑条例の一部改正	-
○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	-
○職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	-
○特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正	-
○議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	-

工事請負変更契約	掲載ページ
○平成30年度向洋中学校トイレ改修工事	4
○平成31年度町民プール改修工事	4

補正予算	掲載ページ
○(専決処分)一般会計補正予算(第3号)	2
○(専決処分)下水道事業特別会計補正予算(第1号)	3
○一般会計補正予算(第4号、第5号)	5
○下水道事業特別会計補正予算(第2号、第3号)	-
○国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号、第4号)	-
○介護保険特別会計補正予算(第3号、第4号)	-

請願・陳情	掲載ページ
○政府及び国会に対し「ライドシェア」に関する意見書の提出を求める請願書	6
○ライドシェア反対、地域公共交通の充実を求める意見書採択の要請	6



## 請願1件と陳情1件を委員会へ付託



**お願い**  
請願とは、請願は、憲法に規定された国民の権利として、公の機関に対して要望する行為のことです。

陳情者 自交総連東北地方連合会  
執行委員長 本間 昭

●ライドシェア反対、地域公共交通の充実を求める意見書採択の要請

請願者 一般社団法人宮城県タクシー協会  
会長 佐々木昌二

●政府及び国会に対し「ライドシェア」に関する意見書の提出を求める請願書

今定例会に提出された1件の請願と、関連する陳情1件は総務産業常任委員会へ付託しました。

請願・陳情



さとう まもる  
佐藤 衛

# 津波避難標識の修正は

# オレンジフラッグの導入を

## 町長 全体的に見直しを考える

## 町長 視覚伝達として検討する

**問** 9月定例会の決算審議の中で、津波避難誘導標識および避難場所案内標識が、町民が理解できないのであれば早急に修正するとの回答があった。

**答** 町長 災害はいつ発生するか分からないのに、いまだ修正されていない。修正の考えは。

**問** 町長 避難誘導標識を107基、避難場所標識を8基設置した。確認した結果、分りにくく修正が必要な箇所は避難場所標識が2カ所、避難誘導標識が1カ所である。修正への時間を要したのは事実である。業者と協議し対応する。

**問** 要害や東宮浜、花洲浜館下と表浜、菖蒲田浜など、多くの避難場所標識地図の方向がずれている。

**問** 避難誘導標識が分かりにくいとの意見がある。オレンジ色の誘導ポールを設置したらどうか。

**問** オレンジフラッグは、海岸でも認識しやすい色の旗で、津波発生を知らせる手段である。また、沿岸漁業者やサーファーへの避難誘導にも活用できる。新しい津波防災のあり方として注目されている。

**問** 人命に関わるものであり、町の計画として位置づける考えは。

**問** 菖蒲田浜海水浴場の避難場所標識に、諏訪神社の鳥居の隣に避難場所が誤って記されているが、すべての箇所を確認しているのか。

**問** 町内一部の地区で、オレンジフラッグを活用していると聞けが、町全体で取り組む考えは。

**問** 町長 津波注意報や警報が発令された場合、オレンジ色の旗を掲げ、振りかざすことは視覚伝達として有効であり検討したい。

**問** 本町では、津波が発生した場合は海岸に近づくないようにしている。高台でオレンジフラッグを振るようになるので、いろいろな誘導方法を考える必要がある。



方向がずれていませんか

**問** 今秋に発生した台風15号や19号は、かつてない雨量の豪雨で河川の氾濫や土砂崩れ、家屋の浸水、田畑への被害など多くの犠牲者と各地に甚大な被害を出した。

**問** 近年の自然現象は想定外が多い。今後、起こり得る想定外の災害に、できる限りの対策を講じるべきである。防災減災の出発点である「洪水・土砂災害警戒区域・内水」のハザードマップを作成する考えはないか。

**問** ひとつの地図上に津波も含め3タイプの危険箇所を色分けして示すのは分かりづらい。子供から高齢者まで見やすいものにすべきでは。

**問** 個別にあつた方がよいのか検討する。

**問** 災害発生時に、町外から来ている人たちは危険箇所や避難所が分からない。ソーシャルネットワークサービスの活用やホームページを随時更新して避難情報を提供する考えはないか。

**問** 災害備蓄品として、母乳に近い栄養が含まれている液体ミルクやアレルギー対応の粉ミルクは、きれいな水が確保されない時に効果を発揮する使い捨て哺乳瓶を備蓄する考えはないか。

**問** 騒音対策や暑さ・寒さ対策に有効な段ボールベッドを災害備蓄品に加える考えはないか。

**問** 町長 本町には河川ハザードマップは作成しない。土砂災害警戒区域や内水ハザードマップは防災ハザードマップへの掲載を検討している。

**問** 県は本町の土砂災害警戒区域等指定箇所を28カ所としている。緊急性がある危険箇所の対策はされているのか。

**問** 政策課長 ソーシャルネットワークサービスは前向きに検討する。ホームページはその都度更新している。

**問** アレルギー対策を含め、使い方や液体ミルクの知識不足解消のため、モニタリングしてはどうか。

**問** 毎年その地区に合わせた防災訓練や防災訓練マニュアル、活動マニュアルを配布している。自助・共助を考えて今後も防災力向上に務める。

# ハザードマップや備蓄品等の充実で防災対策を

## 町長 防災ハザードマップへの掲載や段ボールベット備蓄を検討する



くまがい あけみ  
熊谷 明 美

**問** 町長 県の対策事業として5カ所の整備が完了している。今後は要害地区と松ヶ浜地区の2カ所が整備予定である。それ以外の21カ所は大雨警報が発令された時に速やかに避難を促す。

**問** 町長 キューブタイプのミルクと使い捨て哺乳瓶は備蓄している。アレルギー対応の粉ミルクは保注しており、液体ミルクは保存期間が短く備蓄は考えていない。

**問** 今後、益々増えるであろう自然災害への対処法は、その地区に合った防災対策が必要となり自主防災会の役割は大きい。十分に力を発揮できるように講習会や研修会、出前講座などと考えていないか。

**問** 今後、益々増えるであろう自然災害への対処法は、その地区に合った防災対策が必要となり自主防災会の役割は大きい。十分に力を発揮できるように講習会や研修会、出前講座などと考えていないか。



あらゆる災害に備えを

**問** 賞味期限が近づいている備蓄品は、ローリングストックしているのか。廃棄処分はしていないか。

**問** 総務課長 各地区の防災訓練やスポーツフェスタなど、まちの行事で使っており、ほとんど廃棄処分はない。

**ひとロメ** 内水ハザードマップ 下水道区域全体に大量に雨が降った場合の建物や道路の浸水想定区域を表したもの。



わたなべ あつし 渡 邊 淳

# 水門管理を通じた治水対策を

## 町長 今後の計画でしっかりさせる

**問** 海面の状況や内水増水予測や判断はどのように行われるのか。

**答** 内水の増水予測は困難で、雨量や潮汐の気象情報の収集に努めている。過去の浸水箇所をパトロールしながら内水増水の予測を立てて、水門の開閉や仮設ポンプを設置して対処している。

**問** 菫蒲田海水浴場の水門は複数の関係者に係るようだが管理基準や規程、指針はあるのか、また同様に町内の各水門にも設定されているか。

**答** 町長 県が設置した町管理の水門は、海岸施設操作および維持管理業務のマニュアル通り町が土地改良区に委託している。警戒本部が設置されれば町が指示する。



10月12日09:00菫蒲田水門

**問** 水位の情報を住民に知らせる必要があると思うが町の考えは。

**答** 各水面の高さと洪水の関係は理解しづらく非常に難しいので専門家と相談する。また、町の特長も鑑み探っていくたい。

**問** 降雨量や水深、海面の高さなど連動し客観性のある数値で管理されているのか。

**答** 総務課長 災害警戒本部が設置されれば現場に出向き、海の状態と本部と現場が連携を取り水門開閉を判断する。

**問** 災害時には現場へ出向き判断する考えのようだが、安全性の確保に遠隔監視と操作が考えられる。特性の違う海域を持つている本町では効果的な人員の動きを考えると必要な装置であり、国土強靱化策の中に入れて考えるべきでは。

**答** 住民の安全は避難を優先させる。今後の計画では町の考え方をしっかりさせていかなければならない。

**問** 来年度より非正規の行政職員に会計年度任用職員制度が導入される。県内では、学童保育職員は会計年度任用職員に移行せず、民間委託を予定する自治体がある。本町の放課後児童保育館の運営も変更があると思うが、現時点では説明がないために、児童の保護者や支援員から不安の声が上がっている。会計年度任用職員に移した場合の運営の違いは何か。

**答** 町長 会計年度任用職員を採用し運営する場合は、町の直接運営である。指定管理者へ切り替えた場合は、民間のノウハウを活かし安全安心の運営に期待する。

**問** 住民代表の4名の選定委員は、現在子どもを預けている保護者なのか。

**答** 地域福祉課長 過去に利用していた方はいたよつである。

**問** 現在の保護者を選定すべきだったのでは、手続きを踏んで十分説明し行った。

**問** 現在の進捗状況は。

**答** 指定管理者の公募は3者の応募があった。選定委員は9名で、副町長や職員で5名、住民代表は4名、審査は5項目にて評価した。保護者には来年1月に説明会を予定している。支援員には年内に個別面談予定である。住民には広報で周知し十分な説明をしていきたい。

**問** 指定管理となっても評価後に元に戻す選択もあるのでは。

**答** 副町長 委託はまず3年をめどに行うが、十分な協議を行い対応していきたい。

**問** 今後の協議の中に保護者を入れるべきでは。また、支援員の確保は大丈夫なのか。

**答** 支援員と年内の個別面談にて十分な話し合いをしたい。

**問** 指定管理者の運営には現場の声が町へ直接届かないことへの不安がある。定期的な指定管理者との協議の他に保護者、職員との直接の話し合いの場を設けるべきでは。

**答** 具体的な方法、仕組みに取り組みたい。



えんどう ひさかず 遠 藤 久 和

# 放課後児童クラブの保護者や支援員との協議の場を

## 町長 具体的に取り組んでいきたい



子どもの笑顔が一番です(フリー画像)

# 菫蒲田緑地公園の機能調査は

## 町長 調査する

**問** 菫蒲田区画整理事業で造成した津波防災緑地は、津波の威力減衰が目的で雨水調整池と酷似している。今回台風19号の雨でも満水になった阿川沼から当緑地に逆流しなかった。本来持つべき機能が働かなかつたことは調査すべきでは。

**答** 町長 今回の降雨量はまだはつきりしていないが調査する。

**問** 地区の安全のために現在の機能を評価し、しかるべき雨に備えるべきと思うが。

**答** 雨水対策は掘り下げが必要がある。

# 国土強靱化地域計画の

## 町の意識は

## 町長 計画には適切に

## 対応する

**問** 国土強靱化策は、これからの都市マスタープランや総合計画に生かされなければならないと思うが町の意識は。

**答** 町長 国土強靱化地域計画は、町が行う事業の実施面で重視する計画であることは認識している。町のどんな計画であっても強靱化にかかわる指針を持つもので総合計画の見直しや都市マスタープランにも重要な位置づけとして対応する。

# 町営住宅家賃減免要綱の見直しで 被災世帯の家賃のさらなる軽減を

## 町長 被災者家賃減免規定は類似した 市町の取り扱いを踏まえ規定した



うたがわ わたる  
歌川 渡



きむら りん  
木村 稔

別表 町営住宅入居者月家賃額一覧(平成31年度)

区分	政令月収	1LDK		2LDK		3LDK	
		上段:木造 下段:RC	上段:木造 下段:RC	上段:木造 下段:RC	上段:木造 下段:RC	上段:木造 下段:RC	上段:木造 下段:RC
①	①-1	0円					
	①-2	0円超 ~ 40,000円以下					
	①-3	40,001円超 ~ 60,000円以下					
	①-4	60,001円超 ~ 80,000円以下					
		80,001円(0円) ~ 104,000円以下					
②	104,001円超 ~ 123,000円以下						
③	123,001円超 ~ 139,000円以下						
④	139,001円超 ~ 158,000円以下						
⑤	158,001円超 ~ 186,000円以下						
⑥	186,001円超 ~ 214,000円以下						
⑦	214,001円超 ~ 259,000円以下						
⑧	259,001円超 ~						

**問** 2019年度の町営住宅入居者月家賃は、町長 別表のとおりである。

**答** 昨年一般入居で申請承認された10件の減免後の月家賃は、申請者10件だが、承認件数は7件で軽減後の家賃は0円~1万5000円までである。

**問** 一昨年3月定例会の一般質問で「すでに低廉事業を受けており、病気等の特別な事情がない限り、さらなる家賃軽減はない」と述べた根拠は。

**答** 病気等で、著しく収入が減少した場合である。

**問** 「東日本大震災特別家賃低減事業対象要綱の規定に基づき算出された家賃は、適用しない」とした理由は、法的制約はあるのか。

**答** 県内災害公営住宅設置市町で類似した取扱を行っていることを踏まえ規定した。法的制約はない。

**問** 30年度決算での実質収支額は約4億6600万円もあり、さらに基金積み立てもしている。4~5割減免されている社会教育・福祉関係団体等の使用料・利用料を10割減免することは十分か。

**答** 生涯学習センターおよび町内スポーツ施設等の使用料・利用料が4~5割減免されている各団体を10割減免し、減免対象も拡大する考えはないか。

**答** 教育長 今後、施設の維持管理のため、老朽化による修繕や改修が必要である。その費用は受益者負担を含めた利用料金収入であるため、現行の4~5割の減免対象範囲を継続していきたい。10割減免にする考えは今のところない。

**問** 生涯学習センターおよび町内スポーツ施設等の使用料・利用料が4~5割減免されている各団体を10割減免し、減免対象も拡大する考えはないか。

**答** 生涯学習センターおよび町内スポーツ施設等の練習に子ども達が各施設を利用する場合は、10割減免の対し、高齢者は4割減免である。高齢者も10割減免の対象に加える考えはないか。

**答** 施設を利用されている方の税金も使われており、公平性を保つても受益者負担は必要と考えている。

**問** 「利用している人に幾分でも受益者負担をしていただかなければならない」というのであれば、そもそも、この減免基準とは何かという話になってくるのではないか。

**答** 町長 公益性を勘案し、適正に減免を現行で行っている。

**問** 将来、高齢者の健康維持はもちろんであるが、スポーツを楽しむ事が高齢者の「心のよりどころ」になってくれれば理想の社会と考えるが、持続的利用が可能なる事が一番大切であると考えます。

**答** 町長 将来、高齢者の健康維持はもちろんであるが、スポーツを楽しむ事が高齢者の「心のよりどころ」になってくれれば理想の社会と考えるが、持続的利用が可能なる事が一番大切であると考えます。



# スポーツ施設等の減免や 減免対象の拡大を 継続していきたい

### 教育長

### 現行の減免対象範囲を 継続していきたい

# 菅蒲田浜地区町営住宅の 不具合改善を

## 町長 現地調査を行い 対応を検討していく

**問** 「階段に雨水が溜り排水されない」という声がある。調査して改善する考えはないか。

**答** 町長 今後、現地調査を行い対応を検討していく。

**問** 1階の通路には多くのクラックが入っている。基礎を調査する考えはないか。

**答** 町長 今後、定期的な状況を確認するなど、生活に支障を来さないよう対策を検討していきたい。

**問** 「トイレが頻繁に詰まる」との声がある。調査して改善する考えはないか。

**答** トイレットペーパーを大量に流した事も考えられるが、再度、状況を調査したい。

**問** 入居者にアンケートを取り、不具合があれば対策を講ずるべきではないか。

**答** 県内の災害公営住宅設置市町の実施状況や聞き取り項目なども含めて検討していく。

※その他にこんな質問をしました。「防災行政無線戸別受信機の貸与について」

# 実態に即した受水量の契約と 水道料金の引き下げを

## 町長 県企業局と見直しの 協議を進めていく

**問** 構成自治体の最終水量(日量)と契約更新水量(日量)は、

**答** 町長 17市町合計で最終水量は55万3300立法メートル。来年からの5力年の契約更新水量は22万1900立法メートルである。

**問** 仙南・仙塩広域水道用水事業における最終水量達成年度の事業計画はあるのか。

**答** 平成16年度に第3期以降の建設工事中止を決定し、現在に至っている。最終水量達成年度の事業計画は休止となっている。

**問** 契約受水日量の78%、受水費用の12%を占めている仙台市からの給水料金の見直し、または給水事業の廃止を考慮しているか。

**答** 仙南仙塩広域水道と比べて、1立法メートル当たり5倍の料金になっているが、仙南仙塩広域水道が停止した場合の補完的な役割として継続している。単価が高いだけの判断ではなく、多面的な判断をしていきたい。

**問** 本町の最終水量(日量)1万900立法メートルの契約は妥当と考えているのか。水量見直しを求める考えは。

**答** 本町の最終水量(日量)1万900立法メートルの契約は妥当と考えている。水量見直しを求める考えは、「学校給食の無償化の推進を」

# 町民の声

## 地区としての要望

- 笹山地区内に住居表示看板を設置してほしい。また、誘導板標識（東原入口・小豆浜入口・君ヶ岡入口）を設置してほしい。
- 後継者が不足している環境美化推進員や婦人防火クラブ、民生委員への補助拡大をしてほしい。
- 町有地や公園の高木、除草の回数を増やしてほしい。

## こうして欲しい 意見・要望

## 危険箇所への要望



しっかり安全確認を

- ミニストップ脇の汐見台の看板は腐食していて危険なので撤去してほしい。
- 境山のセブンイレブン近くの県道および港湾道路に横断歩道を設置してほしい。
- 小豆浜の丁字路は重大事故になる可能性があるため対策を講じてほしい。
- 縦断線と久保線の十字路に信号機がない。事故が起きているので対策をしてほしい。



草が伸びると見通しが悪い

- 地区住民に危険ブロック塀の情報提供をしてほしい。
- 須賀の浜は遊泳禁止であるが、海水浴をしている。その対策をしてほしい。
- 菖蒲田浜地区避難所と県道の交差点付近は見通しが悪く、事故が起きているので除草をしてほしい。



地区の現状など貴重な意見要望をいただきました

## 施設整備への要望

- 汐見台分館に多目的トイレを設置してほしい。
- 子育て支援センターの子ども用トイレを洋式にしたい。
- アクアリーナのマシンは付属設備が使えない部分があるので改善をしてほしい。

- 町職員は町内の方を採用してほしい。
- 通年議会により若い人が立候補しにくくなるのではないかと懸念している。
- 議員懇談会での要望や意見の対応結果を報告してほしい。

# 町会へ 議会

第 17 回  
議会報告・懇談会に102人が参加  
11月30日(土) 12月1日(日)



集めたごみの搬出が大変だ

- 前塚浜の漂着ごみへの対策をしてほしい。



防砂対策が必要では

- 吉田浜広場公園の砂が風におおられて飛散している。近隣への防止対策をしてほしい。

# 委員会レポート これも議会の仕事です

## 教育民生

### 教育民生常任委員会

### 留守家庭児童保育館の運営について

最初に現状把握を地域福祉課から受けました。内容は児童クラブの目的や料金、生活指導時間、施設ごとの支援員数と登録数などでした。さらに児童福祉の基本的な考えを学ぶために、全国学童保育連絡協議会の副会長より概要の説明をいただきました。

本事業の趣旨である児童福祉法の理解と、子供の社会的発達的重要性、支援員の処遇も学びました。また、制度上の効果的な活用方法など、細かい活用例などの説明を受けました。一部の保護者からも率直な意見の聞き取りを行いました。指定管理制度導入への問題点を引き続き調査してまいります。

**総務産業常任委員会**  
現在、所管事務の「地方交通対策について」調査を進めております。





# クイズ？

＜3つの中から選んでね＞

問1 4月より七ヶ浜町放課後児童クラブが指定管理として運営されます。指定しようとする団体名はシダックス大新東〇〇〇〇〇サービス株式会社です。〇〇〇〇〇に入るのは。

- ①ヒューマン ②にんげん ③アニマルズ

問2 課設置条例の一部が改正されました。子ども、子育て世代対象の課の名称は。

- ①キッズフューチャー課 ②子ども将来課 ③子ども未来課

問3 第17回議会報告・懇談会の参加人数は。

- ①101人 ②102人 ③103人

応募方法: はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、  
議会へのご意見を書いてお送りください。  
(メール可)

正解者の中から抽選で3人の方に図書券を  
進呈します。

あて先: 〒985-8577 七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1  
七ヶ浜町議会事務局 議会だより係  
Eメール gikai@shichigahama.com

締切り: 令和2年2月29日 (当日消印有効)

前号の答え: 問1 ② 問2 ③ 問3 ②

当選者: 星良子さん、伊藤正人さん  
工藤涼子さん

## 議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は3月開会予定ですー

詳しくは議会事務局まで TEL357-7435  
または、町ホームページ「町民便利帳」を  
ご覧ください。

<http://www.shichigahama.com>

## 表紙に寄せて

12月17日に開催された同性寺学園和光幼稚園  
のもちつき大会の1コマです。元気いっぱいのか  
け声をかけながらお餅をぺったん。つきたてのお  
いしいお餅をお母さんやお父さん、おばあちゃん、  
おじいちゃんとお友達とはとても良い  
顔をしていました。表紙を飾ってくれたのは、らっ  
こ組(年少)の、鈴木奏真くん、稲葉葵ちゃんです。



すずき そうま  
鈴木 奏真くん  
(御林)



いなば あおい  
稲葉 葵ちゃん  
(笹山)

Q もちつき大会は楽しかったですか。

A 奏真くん、葵ちゃん: 楽しかった!

Q 何が一番楽しかったですか。

A 奏真くん: 餅をついたのが、楽しかった。  
葵ちゃん: お餅ぺったんしたことが楽しか  
った。

Q もちつき大会で食べたお餅で一番好きだ  
ったお餅は。

A 奏真くん: のりもち!  
葵ちゃん: 全部好き!

Q 幼稚園で一番楽しい遊びは。

A 奏真くん: おにごっこ。  
葵ちゃん: お歌とダンス。

Q 大きくなったら、何になりたい。

A 奏真くん: しゅうりやさん、なんでもやさ  
ん!  
葵ちゃん: ゆうびんやさん。

Q 幼稚園は好きですか。

A 奏真くん、葵ちゃん: 大好き!

編集後記



◆令和最初のお正月とな  
りました。今年(今年)は十二支  
の最初となる子年(ね)ですの  
で、新しいことにチャレ  
ンジし成長できる年にし  
たいものです。

◆本町でも新たな年を迎  
え、より良いサービスを  
町民の皆さんに届けられ  
るよう、行政サービスの  
向上に必要な組織改編が  
行われます。私たち議員  
一同も住みやすい魅力の  
ある町にするために頑張  
ります。

◆今後はさらに町民の皆  
さんにも紙面に登場して  
頂き、読みやすく親しん  
でいただける「議会だよ  
り」づくりに取り組んで  
まいります。

佐藤 直美

広報広聴常任委員会  
委員長 佐藤 衛  
副委員長 遠藤 久和  
広報分科会  
佐藤 直美  
小林 倫明  
仁田 秀和  
木村 明  
熊谷 美

発行責任者  
議長 岡崎 正憲